

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
主任部長	射場 昭典
部 長	康原 根浩(8月入職)
医 長	上田 祐子
医 員	芝野 秀哉
医 員	上村 啓文

＜特色と概要＞

当科では、泌尿器科悪性腫瘍(腎癌、膀胱癌、腎盂尿管癌、前立腺癌、精巣癌、陰茎癌)、尿路結石症、尿路感染症、排尿障害、小児泌尿器科疾患(包茎、停留精巣)をはじめとする泌尿器科疾患全般の診療を行っている。

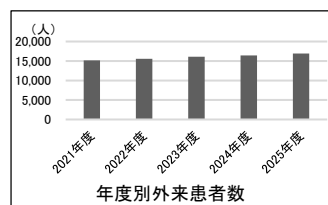
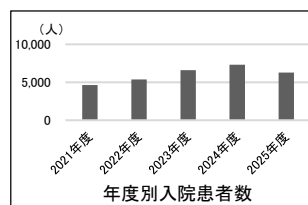
2025年8月より上田祐子先生が産休育休に入ったので、代わりに康原根浩が赴任している。年間の外来患者数は16,909人(うち新規患者数は751人)、入院患者数は542人であった。当科で2025年度に施行した手術の詳細は以下の表を参考にしていきたい。主な手術は膀胱全摘除1件、腹腔鏡手術(副腎、腎、腎尿管など)32件、ロボット支援下前立腺全摘除術53件、ロボット支援下腎部分切除術11件、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)93件、経尿道的尿管碎石術(TUL)97件、経皮的腎碎石術(PNL)11件、経尿道的レーザー前立腺核出術(HoLEP)25件などであった。

泉州地域における泌尿器科診療の基幹施設の一つとして、数多くの手術実績を地道に積み重ねていくことにより、地域社会に貢献していきたいと考える。

＜実績＞

患者数(外来及び入院、延べ人数の推移) (人)

年度	外来		入院	
	延べ患者数	1日平均	延べ患者数	1日平均
2021年度	15,171	62.7	4,636	12.7
2022年度	15,558	64.0	5,377	14.7
2023年度	16,088	66.2	6,597	18.0
2024年度	16,438	67.6	7,303	20.0
2025年度	16,909	69.9	6,278	17.2



入院患者の疾患名と人数(主病名件数 上位50まで)

(期間2025/4/1-2026/3/31退院)

主病名(ICD10コード名)	ICD10	件数
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 膀胱, 部位不明	C679	113
尿管結石	N201	77
前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61	74
腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	C64	34
前立腺肥大(症)	N40	32

腎結石	N200	29
尿路感染症, 部位不明	N390	23
尿路結石, 詳細不明	N209	22
腎盂の悪性新生物<腫瘍>	C65	18
膀胱結石	N210	17
腎尿路の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 膀胱	D414	15
急性尿管間質性腎炎	N10	13
尿管間質性腎炎, 急性又は慢性と明示されないもの	N12	12
尿閉	R33	12
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 膀胱側壁	C672	8
尿管の悪性新生物<腫瘍>	C66	7
急性前立腺炎	N410	7
その他及び詳細不明の水腎症	N133	7
尿管結石を伴う腎結石	N202	5
内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 副腎	D441	4
精巣<睾丸>水腫, 詳細不明	N433	4
腎及び尿管のその他の明示された障害	N288	3
過長包皮, 包茎及びかゝん<嵌>頓包茎	N47	3
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 膀胱前壁	C673	3
膿瘍を伴わない精巣<睾丸>炎, 精巣上体<副睾丸>炎及び精巣上体精巣<副睾丸>炎	N459	2
尿道狭窄, 詳細不明	N359	2
肛門性器(性病性)いぼ<疣><疣贅>	A630	2
詳細不明の腎不全	N19	2
その他の急性腎不全	N178	2
間質性肺疾患, 詳細不明	J849	2
腎尿路の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 腎	D410	2
急性腎不全, 詳細不明	N179	2
その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物<腫瘍>, 副腎	D350	2
肛門及び直腸の出血	K625	2
前立腺の炎症性疾患, 詳細不明	N419	2
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 尿管口	C676	2
男性生殖腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 精巣<睾丸>	D401	2
黄色ブドウ球菌による敗血症	A410	2
細菌感染症, 詳細不明	A499	2
膀胱憩室	N323	1
精液瘤	N434	1
腹腔内出血	K661	1
詳細不明の糖尿病	E14	1
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 膀胱円蓋	C671	1
停留精巣<睾丸>, 患側不明	Q539	1
肺炎, 詳細不明	J189	1
陰茎のその他の明示された障害	N488	1
無顆粒球症	D70	1
腎尿路の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 腎盂	D411	1
陰のう<嚢>の炎症性障害	N492	1

検査治療数集計(*は重複あり)

診療明細名称	件数
副腎摘除術	5
腹腔鏡下副腎摘出術	5
単純腎摘除術	2
腹腔鏡下腎摘出術	2
根治的腎摘除術	27
腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	15 *
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)(その他のもの)	1
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)(原発病巣が7センチメートル以下のもの)	11
腎尿管全摘除術	15
腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	15 *
尿管膀胱新吻合術	1
尿管膀胱吻合術	1 *
膀胱全摘除術	1
膀胱悪性腫瘍手術(全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの))	1
尿管皮膚瘻造設術	1
尿管皮膚瘻造設術	1

診療明細名称	件数
前立腺全摘除術	53
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	53
精巣摘除術	2
精巣悪性腫瘍手術	2
精巣固定術	1
停留精巣固定術	1
包茎手術	8
包茎手術(環状切除術)	8
PNL(経皮的腎結石破砕術)	11
経皮的尿路結石除去術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	11 *
TUL(経尿道的尿管結石破砕術)	97
経尿道的尿路結石除去術(その他のもの)	1
経尿道的尿路結石除去術(レーザーによるもの)	96
膀胱碎石術	65
経皮的尿路結石除去術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	11 *
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(一連につき)	54 *
TUR-P/HoLEP	28
経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術(ホルミウムレーザー又は倍周波数レーザーを用いるもの)	25
経尿道的前立腺手術(その他のもの)	1
経尿道的前立腺手術(電解質溶液利用のもの)	2
TUR-Bt	93
膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(その他のもの)	3
膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(電解質溶液利用のもの)	90
腎盂尿管鏡検査	13
腎盂尿管ファイバースコープ(片側)	9
腎盂尿管ファイバースコープ(両側)	4
ESWL	54
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(一連につき)	54 *
腹腔鏡下尿膜管摘出術	1
腹腔鏡下尿膜管摘出術	1
経尿道的尿管拡張術	1
経尿道的尿管狭窄拡張術	1
膀胱尿管新吻合術	1
尿管膀胱吻合術	1 *

(診療報酬請求の番号の発出を元にカウントした件数)

＜今年度の成果と来年度への抱負＞

外来患者数、入院患者数および手術件数は前年より増加し、2023年12月当院に導入された手術支援ロボット「ダビンチXi」によるロボット支援手術は、順調に症例数を重ねている。

泌尿器科の進歩は著しく、外科的治療では腹腔鏡手術やロボット支援手術といった低侵襲治療が普及し、薬物治療では革新的な新薬が次々に産み出されている。今後とも多くの患者から「ありがとう」と言ってもらえるように、最新で良質な医療を安全に提供できるように日夜診療に励む。

昨年度と同様に救急患者や時間外患者を診察し、ロボット支援手術を積極的に行うことにより、入院患者数(年間650名以上)および手術件数(年間400件以上)を増加させることを目指す。

なお2026年3月で射場昭典が退職し、康原根浩が新たに部長に就任する予定である。

今年は、腎尿管悪性腫瘍手術や膀胱全摘除術もロボット支援手術を導入し、さらなるロボット支援手術を増加させたいと考えている。

診療局：産婦人科

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
診療局長兼産婦人科部長 兼薬剤管理センター長 兼周産期センター産科医療センター長 兼医療安全管理室長 兼国際診療支援センター長	荻田 和秀
副部長	古谷 毅一郎
医 長	鹿戸 佳代子
医 長	張 良実
医 長	山下 紗弥
医 長	來間 愛里
非常勤医員	小島 祥文 (9月退職)
非常勤医員	喜多 美里 (12月退職)
非常勤医員	真野 雄貴 (9月退職)
非常勤医員	中谷 早希 (9月退職)
非常勤医員	鈴木 理英 (9月退職)
非常勤医員	野村 友香 (10月入職)
非常勤医員	川崎 悠歩 (10月入職)
非常勤医員	中村 舞 (10月入職)

＜特色と概要＞

2008年度より、市立貝塚病院産婦人科との集約化の結果、泉州広域母子医療センターとして再編され、当科は周産期センター産科医療センターとしての機能を担って17年目になる。婦人科手術と悪性腫瘍の化学療法は市立貝塚病院にて産婦人科医が行い、当院では夜間休日の産婦人科一次・二次救急、分娩、母体搬送、産科手術を担当している。産科病棟(6階山側病棟)は2009年より完全母児同室を開始しており、麻酔科による和痛分娩も月15件ほど行っている。

詳細については「共同運営部門：＜周産期センター＞産科医療センター」をご覧ください。